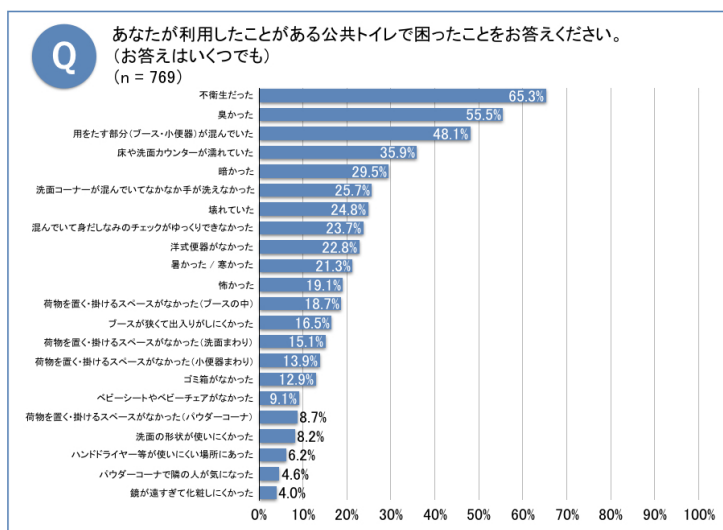


《11月10日はトイレの日》  
**トイレで困ったことベスト3「不衛生」「臭かった」「混雑」**  
**汚いトイレは、「施設へのイメージダウン」が6割超え**  
**男性トイレの完全個室化賛成は、4割超え**  
 ～トイレの快適利用に関する意識調査を発表～

アイカ工業株式会社(代表取締役社長:小野勇治 本社:愛知県清須市西堀江2288番地 資本金:98億9,170万円)は、20歳から69歳の男女を対象に「トイレの快適利用に関する意識調査」を実施しました。明日11月10日「トイレの日」、11月19日「世界トイレの日」に向けて、公共・商業施設などのトイレ利用の実態を浮き彫りにするため、調査結果をまとめましたのでお知らせします。

### <調査の背景>

近年、公共トイレがその場所のイメージを左右したり、集客などにも影響したりすることから、ユニバーサルデザインを採用するトイレも増えていきます。また、名古屋市が公衆トイレを全て洋式化する方針を明らかにするなど、公衆トイレの整備も進んでいます。11月10日の「トイレの日」に向けて、誰もが安全・快適に使いやすいトイレとは何かを浮き彫りにするため、トイレの快適利用に関する意識調査を実施しました。



### <おもな調査結果>

- ・最も利用したことがある公共トイレについて、トップは商業施設(38.0%)である。男性40代は、コンビニ利用の割合(全体では15.1%)が高い。
- ・最も利用したくない公共トイレについて、最も高いのは、「公園」(64.8%)である。次いで「駅・その他交通機関(空港や高速道路のサービスエリアなど)」(2.4%)、「病院」(2.1%)、「コンビニ」(1.3%)と続いた。
- ・公共トイレでチェックするところについて、全ての場所で「不衛生ではないか」がトップだった。
- ・公共トイレが汚いとき何を思うかについて最も高いのは、「施設のイメージが下がる」(64.2%)である。
- ・男性トイレの完全個室化については、「良いと思う」は17.8%である。「まあ良いと思う」(24.0%)を合計すると、4割超え(41.8%)の結果となった。
- ・LGBTの方のために配慮された表示を「見たことがある」割合は4.4%、色覚障害の方のために配慮された表示を「見たことがある」割合は4.8%と、少数にとどまった。

## <調査概要と回答者プロフィール>

### ■調査概要

調査方法：ウェブにより実施  
 調査期間：2017年10月31日～11月2日  
 調査対象：20歳～69歳までの男女  
 有効サンプル数：800名

### ■回答者プロフィール

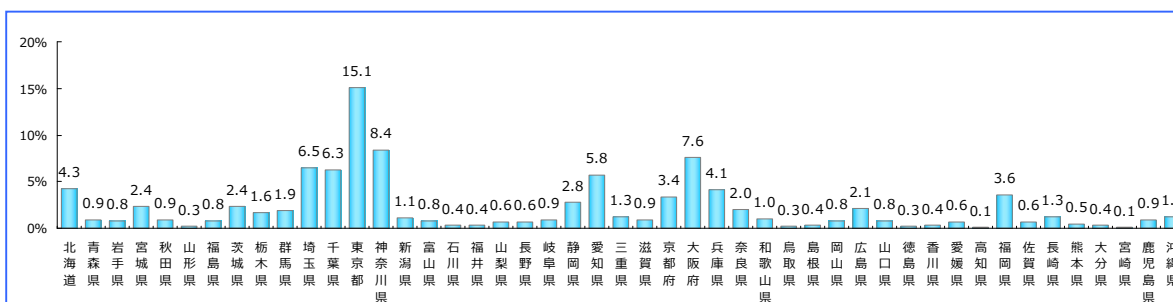
性別：男性:女性=1:1  
 年齢：20歳～69歳  
 地域：全国

※人数内訳

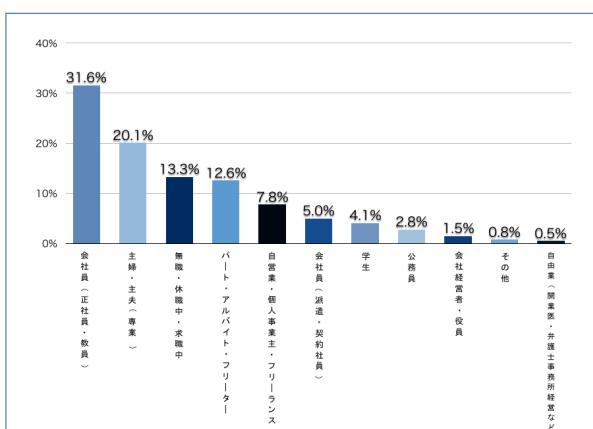
[単位:名]

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	80	80	80	80	80	400
女性	80	80	80	80	80	400
合計	160	160	160	160	160	800

### ■居住地



### ■職業(n=800)



### ■子どもの年代(n=402)

